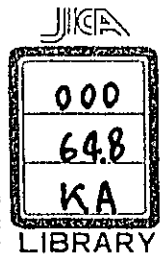


AID,IBRD,UN,UNDP,OECDにおける
電子計算機利用状況調査報告

昭和 50 年 5 月



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 5. 22	000
	64.8
登録No. 06604	KA

は じ め に

AID, IBRD, UN, UNDP, OECD におけるコンピュータ利用の現状と実情および上記機関で作成され加盟国、関係国に提供されているデータのうち本省で利用可能な情報の磁気テープベースでの入手方法の検討, IBRD の ERS (expanded Reporting System 拡大報告制度) におけるインプットデータの磁気テープによる報告の可能性および DAC の諸統計データの磁気テープ入手について打合せ等の目的のため 4 月 5 日より約 2 週間現地調査を行なった。

個々の報告は別記の通りであるが、この調査結果に基づき諸システムを開発するとなると一時的なマンパワーの増幅と費用とが必要であろうが、これら諸システム例えば、DAC の統計データ処理システムを完成すれば種々の面で有用効果を発揮することが期待されるであろう。

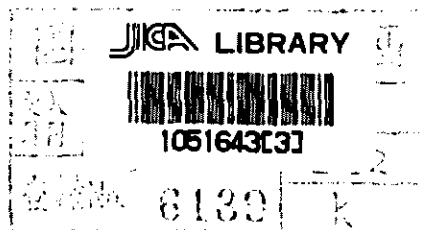
なお、このシステム稼働のためには、現在外務省が有している電子計算機で充分であるとはいえ、使用時間・頻度等を考慮する必要が生じることは、否定できない。

また、ERS システムへの磁気テープデータの提供については、各省庁からの入力データ方法の異なることが(使用機種の違い等)予想されることから、これらのコンバージョン・システムの開発もまた急務となるであろう。

最後に、本調査にご協力、ご指導下さいました諸関係機関の皆様には厚く御礼申し上げますと共に、今後とも宜しくご指導賜わりますようお願い申し上げます。

外務省経済協力局政策課

国際協力事業団
情報管理課



目 次

1. AIDにおけるコンピュータ利用状況	1
(1) 組織および人員構成	1
(2) ハードウェア	1
(3) 主要対象業務	2
(4) ERSにおける質疑応答	2
(5) その他	3
2. IBRDにおけるコンピュータ利用状況	5
(1) 組織および人員構成	5
(2) ハードウェア	6
(3) ソフトウェア・アプリケーション	6
(4) ERSについて	6
(5) 資料の収集について	7
3. 国連(本部)統計局におけるコンピュータ利用状況	11
(1) 統計局とICCおよびNYCCの関連について	11
(2) ハードウェア	11
(3) 主要対象業務	12
(4) 磁気テープについて	12
(5) システム開発の将来計画	15
4. UNDPにおけるコンピュータ利用状況	17
(1) 組織および人員構成	17
(2) コンピュータ利用体制について	17
(3) 主要対象業務	17

5. OECDにおけるコンピュータ利用状況	32
(1) 組織および人員構成	32
(2) ハードウェア	32
(3) 主要対象業種	32
(4) 磁気テープ入手および継続入手方法	33

1 A I Dにおけるコンピュータ利用状況

(1) 組織および人員構成

データ・マネジメント局の組織は、別添資料 1.に見る通りである。

同局は総勢89名で、システム・アナリスト(System Analyst) 25名、プログラマー30名、キーパンチャー4名、他にオペレータ、管理職員、間接部門職員等により構成されている。(特にキーパンチ作業を別会社に外注していることから4名で間に合っているとのことである。)

なお、SA、プログラマーの教育訓練は60年より力を入れており、3つの教育訓練コースを用意している。

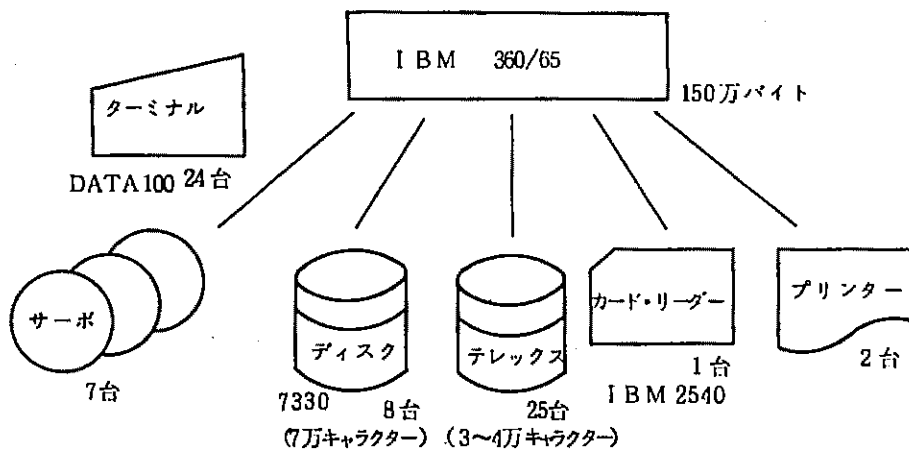
現在、3コースで10名づつが2年半の教育をうけている。

業務については、全てSAをリーダーとするプロジェクト・チーム制により遂行されている。

(2) ハードウェア

現在使用している機種は、IBM 36%の1システムである。(69年搬入)

以前使用していたIBM 36%・36%は、現在稼働させていない。



磁気テープ使用本数 3,800 本
マシン使用時間 24時間(週6日)3シフト制

このシステムについては、バッチ処理と比較してT. S. S (Time Sharing System) にウエイトをおいており、今後もターミナルを増設する計画を立てている。

(3) 主要対象業務

- Project Analysis and Information System
- American and Foreign Nation Payroll System
- Participant Training Statistical System
- Revised Automated Manpower and Personnel System
- Loan Accounting and Information System

上記、以前より調査済の5システム(詳細は鈴木レポート 46年9月経済協力局、参照のこと。)に加わえ現在迄のところ

- Budget and Accounting System
- Disaster Release System

を開発しており、後者については、開発に8～9名を要したとのことである。(メンテナンス要員1～2名)

前者は稼働までかなり時間を要するという大規模なシステムである。(レポートは現在作成中であるとのこと、でき次第、日本大使館へ送付方依頼 入手済5/25)

その他、経済協力効果(教育効果、食糧援助効果)の国別経済分析などもコンピュータを用いて行なっているようである。

なお、長期マクロ・モデルによる米国経済協力の効果測定は、商務省の予算関係の部が実施している。

(4) ERS (Expanded Reporting System) における質疑応答

- 磁気テープベースによるERSデータの提供いかん。

AIDは、ERSデータをコンピュータ・プリント・アウトプットの形で世銀に送付しており、提供は行なっていない。

◎ ERS のデータ・ギャザリングについて

民間データは、米国財務省と商務省および輸出入銀行が実施しており、ERS のForm 1, Form 3を作成しているとのことである。

(5) その他

◎ カントリー・ペーパーの検索システムについて

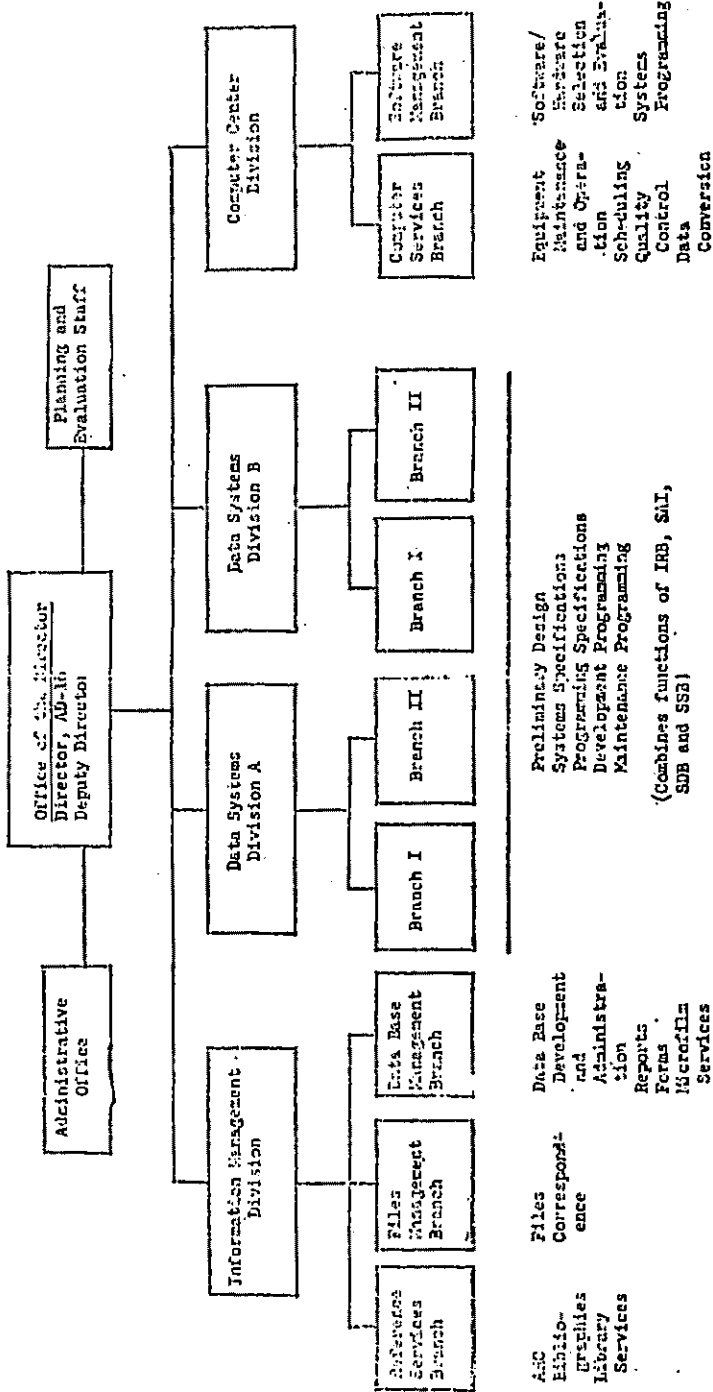
資料索引の印刷物があるので、特にシステム化の意図をAIDは持っていないがカナダ政府が、総合資料インフォメーション・システムを開発する計画を立案しているという情報を得た。

◎ システム開発の方法

1人のSAを中心として、5～8名でプロジェクト・チームを編成し、事前調査、予備設計、詳細設計、機能仕様書までを作成し、プログラミング、デバックは外注しているとのことであった。

すでに実行しているシステムの中には、数カ月で完成させたものもあるが、通常の場合は、システムを大体2～3年で完成させている。

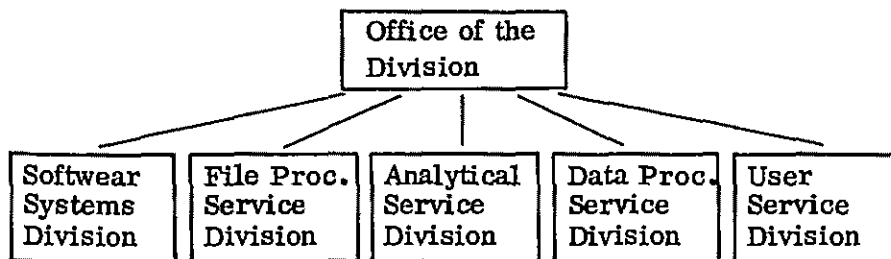
OFFICE OF DATA MANAGEMENT



2 I BRDにおけるコンピュータ利用状況

(1) 組織および人員構成

コンピュータ部の組織は、下記の通りである。



各課の業務内容は、

① Softwear System Division (6名)

Algol, PL/1, Basic, FORTRAN COBOL等のコンパイラ加工修正およびソート・ルーチン開発等銀行業務に適するオペレーション・システム開発を主要業務としている。

② File Proc. Service Division (26～28名)

下記の4セクションより行っており、データベース作成が中心となっている。

- ◆ ERS, DRS, Section
- ◆ Personnel Payroll Section
- ◆ Budgeting Planning Section
- ◆ Loan Accounting Section

③ Analytical Service Division (21名)

下記の3セクションより行っており、多次元の時系列データを作成し、ローン・クレジット等の予測を主として行っている。

- ◆ Operations Research (数値プログラミング) Section
- ◆ Numerical Statistical Section
- ◆ Special Development Section

④ Data Proc. Service Division (40名)

(40名のうちSystem Analystは4名)

Computing Centerと連結して、主としてキーパンチ、マシンオペレーションおよび管理業務を行っており、世銀以外にもBurroughsの顧客・エンジニア(Customer Engineer)などが参加している。

Burroughs社の入れ換え作業の終了(今年夏)と同時に、多少人員を削減する予定である。

⑤ User Service Division (5名)

ユーザー局の業務内容をよく理解しているスタッフが、コンピュータ・サイドよりむしろユーザー・サイドに立ってシステム開発部門との調整を行なう課である。

システム開発の量の増大に伴って、スタッフを今後増員する予定とのことである。

(2) ハードウェア

従来使用していたBurroughs 5700は、今年夏に廃止し、昨年暮に搬入したBurroughs 6700へのシステム入れ換え作業を行なっている。

システム機器構成は、別添資料2の通りである。

(3) ソフトウェア・アプリケーション

Burroughs 5700から6700への転換に際し、ソフトウェアも20システムほどコンバージョン作業を行なう必要がある、5月第2週よりERSの平行ランを開始する。

同一機種種のコンバージョンにつき、その必要性を問うたところ、

従来のソフトウェアは、殆んどが外注であり、システムの性能が劣悪であることと、情勢変化に対応させるためにこの機会を利用してシステム刷新を計っているとのことであった。

(4) ERSについて

ERSは前述の如く、現在ERS(EXD)からERS(IXD)のコンバージョンを行っており、まだ完全に終了しないとのことである。

我国のERSの磁気テープによるデータ提供については、

当然IBRDの業務削減し寄与するのでIBRDとしては好ましいことであるがだからといって他の先進国データ等を日本へ供給するというのは、無理であるということであった。

確かに先進国間では、お互いにデータを交換しようという意見も以前はあったが、その後一つも進展していない。

従って现阶段では、他の先進国データはコンフィデンシャルな取り扱いをせざるをえないし、提供は難しいとのことである。

OECDでは世銀の承認が得られれば、提供しても良いとの発言があった旨の質問に対しては、

同様に“Confidential”という返答を受けた。

他の先進国の磁気テープによるERSデータの提供については、

- ① 米国は全般的に報告が遅れてはいるが、FORM 2については、財務省が磁気テープを使用し送付して来ている。
- ② イタリア現在計画中。
- ③ 西独はまだコンピュータのアウトプット・プリントを使用しており、これにつき内部で検討中。
- ④ 我国は依然としてペーパー・リポート。

我国からの磁気テープ提供については（検討中であるがと話した後）IBMモードでインターナル・ラベルを統一しEBCDICコードを使用すれば、Burroughsへコンバージョンが可能である。

（なお、テープ、フォーマット等詳細については、駐ワシントン日本大使館の鈴木氏経由で送付方依頼済）

(5) 資料の収集について

◎ ERS, DRSのシステム・マニュアルについて

大蔵省を通じて日本代表の副理事を通して正式に申し入れて欲しいとのことであった。（銀行の規則により他出不可能のため）

また、世銀の情報処理の将来計画についても、9月頃Muller局長が作成するとのことなので、サマリーが欲しければ、更にサマリーを見て詳細資料が欲しければ理事長を通して申し込んで欲しいとの返答を得た。

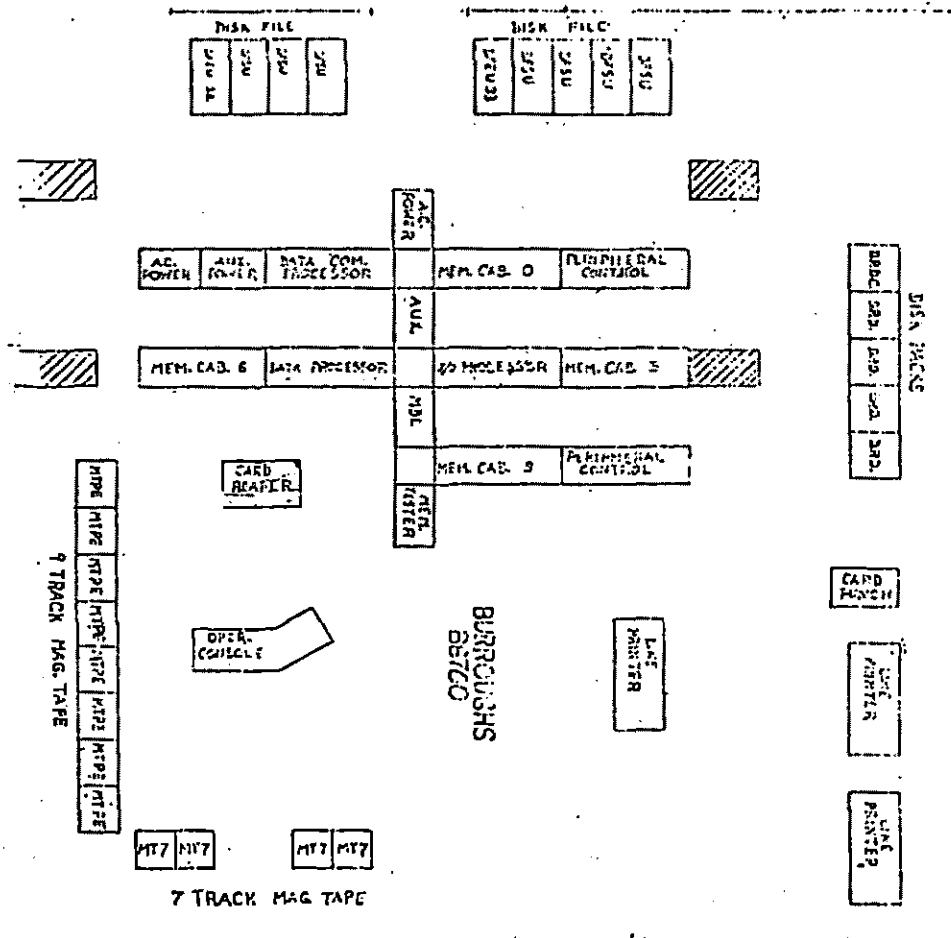
なお、他のシステム詳細内容についても "System Overview (50年9月刊行予定) を入手し参考にされたいとのことであった。

◎ IBRDでは積極的に各国毎のエコノミック・モデルを作成し、特に Commodity Analysis や Section Analysis を中心に成長率の高い国、人口密度の高い国等を抜き出して外貨事情等をチェックする作業を行なっている。

経済協力業務、特に、技術協力に必要なドキュメンテーションの入手方希望したところ、コンフィデンシャルなもの以外は、Reference Service Division で定期的に発行している "Publications List" を取り寄せ、その中から希望する書物、パンフレット等を直接に Reference Service Division に請求すれば送付してくれるとのことであった。

(なお、この "Publications List" を継続的に入手できるよう Reference Service Division の送付リストにエントリー済)

JOINT COMPUTER CENTER



Burroughs-707's Computer System

<u>Item</u>	<u>Quantity</u>	<u>Performance Characteristics or Capacity</u>
<u>Central System</u>		
Central Processor		5 Megahertz/second.
Input/Output Processor		Control the flow of 2 million bytes of data per second.
Memory Modules	12	1,179,648 Bytes.
<u>Peripherals</u>		
Card Reader	1	1400 Cards per minute.
Card Punch	1	300 Cards per minute.
Line Printer	3	1100 Lines per minute.
Magnetic Tape Units		
9 Channel, 1600 BPI	8	240 K bytes per second-transfer rate.
7 Channel, 800 BPI	4	96 K bytes per second-transfer rate.
<u>Secondary Storage</u>		
Head Per Track Disk Units	7	140 Million bytes with 23 millisecond average access time.
Risk Pack Dual Drives	4	484,111,000 bytes with 30 millisecond average access time.
<u>Data Communication</u>		
Data Communication Processor	1	Services line speeds ranging from 45 to 9500 baud.
Slow Speed Lines	5	Dial up lines for time sharing with up to 300 byte capability.
Slow Speed Lines	2	For printing tape labels and test monitoring.
High Speed Lines	2	Remote Job Entry stations operating at 1800 baud.
High Speed Lines	2	Remote Job Entry stations operating at 9600 baud.

3 国連(本部)統計局におけるコンピュータ利用状況

(1) 統計局とICC (International Computer Center) およびNYCC (New-York Computer Center)

統計局の組織は、別添資料3にみる通りである。

71～72年にコンピュータ業務が、統計局からAdministrative & Management Officeに移管された。

これは統計処理のみにコンピュータを占有することは、好ましくないという結論が得られたためである。

従って、総務部が全体を管理し、統計局はユーザーとなっているとのことで、実際は、独立機関のNYCCが電算処理を行なっている。

なお、国連内部では、使用時間に応じて費用のつけかえを予算上行っておりUNDP等外部機関には、実費を負担させているとのことである。

ICC (ジュネーブ)は国際機関の電算処理ニーズに応じる目的で設立されたものであるが、現在の利用状況は、国連 $\frac{1}{4}$ 、WHO $\frac{1}{4}$ 、UNDP $\frac{1}{4}$ 、残りはその他となっている。

ここでも使用時間によって料金を負担する運用体制をとっている。

なお、ICCの人員構成は、SAおよびプログラマー20名、オペレータ12名、キーパンチャー15名の計47名である。

(2) ハードウェア

機種は、IBM 370₄₅ (384 K バイト) 周辺機種は、

IBM 029 キーパンチ・マシン

IBM 2501 カード・リーダー

IBM 2319 ダイレクト・アクセス記憶装置

IBM 1403 プリンター

IBM 3420 磁気テープ・サーボ

なお、統計データ・ベースおよびターミナル検索システム(オンライン化)のためマシンのパワーアップの話があり、予算要求しているが、74年および75年ともに予算がついていない。

(3) 主要対象業務

- ① National Accounts Statistics
- ② Trade Accounts Statistics
- ③ Industrial Accounts Statistics
- ④ Population & Social Accounts Statistics

上記4統計の集計業務が中心となっており、面接者は④の専門担当者であった。

①は、Yearbook of National Accounts Statistics と同一内容。

②は、Commodity Trade Statistics (毎年入手)として出版しているもの
OECDとの作業重複に関しては、旧態依然としている。

なお、80～90カ国は、自国の貿易統計を磁気テープで提供しており、その大部分は、IBMモードである。

フォーマット、標準コードは専門家が評価・修正し、残りの国については、政府刊行物をもとにNYCCでパンチ処理している模様である。

③は、商品別にテスト開始。

詳細については、不明である。

(4) 磁気テープについて

① 貿易統計テープ(年間50本)

1963年 国連作業開始

1964～65年 Traditional Statistics 作成

我国では、行政管理庁予算でアジア経済研究所が、すでに購入している。

コスト 全体(1年分) 1～2万USドル

1カ国 150USドル(大きい国で1カ国1本、普通2～3カ国1本)

② 人口統計テープ(全部40本、年間2本)

1960～70年のデータはアジア経済研究所が入手している。

これは、国連にアジア経済研究所が協力(データのパンチ業務)していたことから無償ベースで提供されたもので、コストも不明であるが、1本100USドル前後との見積りであった。

なお、詳細については、昨年72～73年データをアジア経済研究所へ送付しているのので、アジア経済研究所に問い合わせればわかるとのことである。

(調査中)

③ 工業統計(年間1本)

我国の生産統計と工業統計に類似した2種がある。

質問表回収後、Key to Tape Machine でインプットしている。

生産統計 190カ国対象 300品目のCommodity Production

工業統計 90カ国対象 63～72年迄

事業所、従業員数、賃金、電力消費量、出荷額、付加価値額、
粗固定資産、在庫額等調査項目

タイム・ラグは約2～3年(質問表の回収・分析・再調査のため)

④ エネルギー統計(1本)

国別エネルギー種別(固体、液体、ガス、電力あるいは水力、石油、原子力等)

エネルギー形態別(生産、流通、ストック、消費等)

その他、石油、天然ガスのフローマトリックスも作成されている。

更に、先進国、開発途上国(LDC)別の計算もなされているが、欠点は石油ストックデータを出したがないことにある。

これらの磁気テープの使用コードは

カントリーコード: 国連コード

商品コード: SITCコード

商業分類コード: SITCコード

である。

なお、National Accounts と Production の統計を取り入れた磁気テープは、Publication 作成のためにのみ編集したもので、外部への提供は好まない。

人口統計も消費者供給を考慮して作成したものでもないこともあり、年齢区分10～15才、15～19才、15～20才等千差万別で横並び表作成は困難、グランド・トータルなら良いが分類は無理である。

● 我国の磁気テープ入手上の問題点

人口統計、貿易統計などの統計をアジア経済研究所が保有していることを通産省が知らず、重複して入手申請をしている例がみられる。

これに加え外務省が、入手申請をされると、また重複することになり同時に費用も無駄になるものと思われる。

日本の統計窓口は、行政管理庁の行政管理局統計企画課であり、同庁で一本化して欲しいとの要請があった。(同課長工藤氏または石田氏)

提供した磁気テープを再コピーして利用するには、種々の問題(版權、秘密項目等)があるが、日本政府(行政管理庁)が責任を持って政府間で利用する分には問題ないと思われるとの意見があり、すでにアジア経済研究所で有している人口統計、貿易統計のデータは、多いに利用すべきであると思料される。

また一般に各国政府に提供可能な統計は、全体の1~2割にすぎず(全体の1~2割とは、他にも共産圏の職員が国連に協力しており、ソ連、ハンガリー等の東欧共産圏の国民所得、国民生産の絶対額、数量等の統計が、作成されているにも係わらず実際には、入手されていないという事実に基づく推定である)実際に、有益な統計を得るには、ハイ・レベルのプッシュが必要である。

或いは、電算機を寄贈(民間では提供しても良いとの意見があり)することにより無償提供を受けることも一つの方法であろう。(マシン無償提供してもその費用10~20万ドル程度)

● 統計テープの入手方法

非公式には、電算機寄贈等の反対給付を除いては無理であり、従って、統計局長室に要求書を提出し、いかなる時期の何統計かを指示して入手することが望ましい。

統計テープ以外のデータについては、国連側としては、磁気テープで提供することは、磁気テープの内容が確実であるとの保証もできないし、印刷物であれば後日、文書にても訂正可能なため提供が困難であると強調していた。

更に、資料などの磁気テープに限らず印刷物についても継続入手は、国連自体に継続性がないので、その都度入手手続きの方が良いとのことである。

また、統計テープの入手は、作成時期のタイミングをみることも必要(大体Publicationを作成する際に磁気テープを利用するのでその頃手続きするのが望ましい)である。

因みに、Production Statistics は、夏頃、公表の予定であるとのことであった。

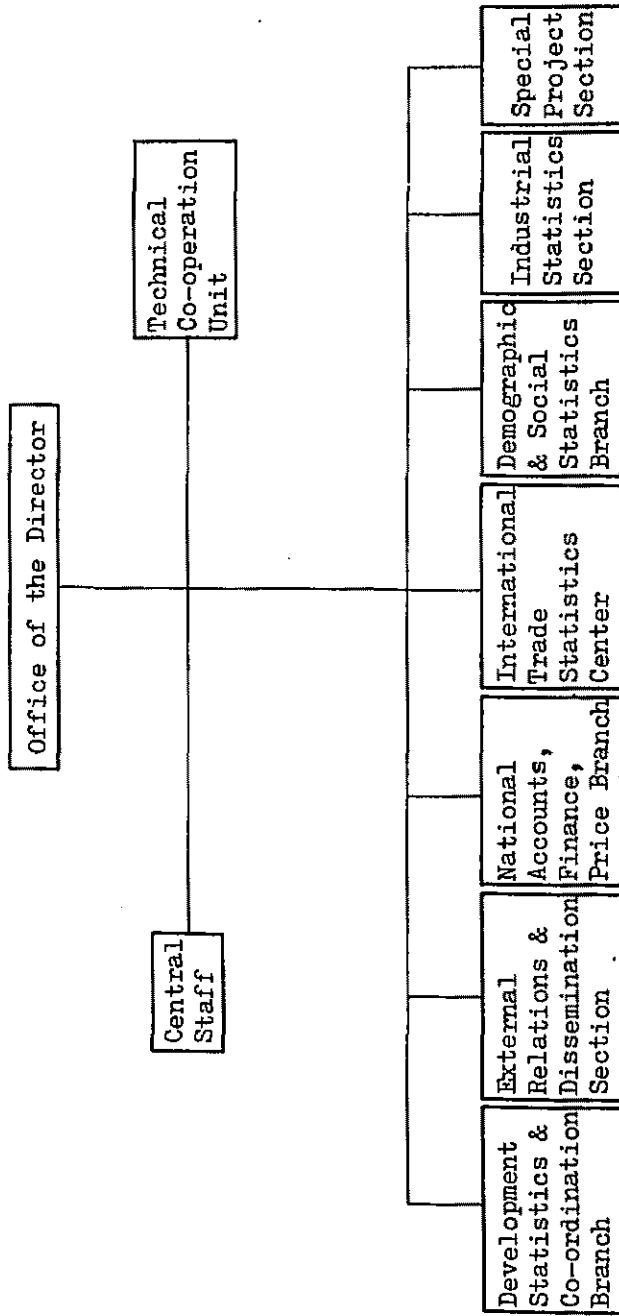
(5) システム開発の将来計画

① Industrial Statistics については、全商品へ拡張する予定である。

② 総合統計年鑑

アイテムを制限したマンスリー・テープ作成については以前より意見が出ているが、サブジェクトが多くてユニットが不統一であるため実際には具体化していないが、内容を更に要約して Monthly View System として磁気テープを提供したい意向はある。

STATISTICAL OFFICE



4 UNDPにおけるコンピュータ利用状況

(1) 組織および人員構成員

今回の調査対象部門は

Division of Management & Information System であった。

上記部門は、

System Section

Service Unit Section に分かれている。

System Section は、システム開発、プログラミング等を主要業務としており、Service Unit Section は、海外事務局より送られてくる UNDP 活動報告資料のチェックおよびコーディングを地域毎に行なっている。

この部門の総勢は35名であり、そのうち SA 3名、プログラマー 5名、残りは Service Unit Section の資料チェック要員と管理職員および間接業務職員である。

また、ICC (ジュネーブ)にもプログラマー 3名を派遣し統計資料作成を実施させている。

(2) コンピュータ利用体制について

UNDPはコンピュータを所有しておらず、NYCC、ICCのマシンを利用している。(使用時間により料金を支払うことになっているが、年額およそ2万USドルかかるとのこと。)

現在はバッチ処理が行われているのみでT.S.Sへの移行は、NYCCとICCとか間で話し合いの段階にあり、いかなる方向へ移行するのか不明である。

(3) 主要対象業務

UNDPにおけるコンピュータの主要業務は、Financial および Personnel 業務である。

● Financial System

UNDPはGrantのみ行なっているが、海外事務局より送られてくる資金計画および実行額のデータを各地域担当者が詳細にチェック、修正のうえICC

へデータ送付し、New Master Tapeを受けとるという運用方法をとっている。

このシステムは単に統計ヒストリーを作成するためというよりは、計画額と実行額との間で分析を行ない問題点を明確化することに用いられている。

結果は、シリーズBとし(Annual Report)で報告されている。

なお、このシステムのインプット・フォーム、アウトプット(一部)については、別添資料4(1~5)および5(1~2)を参照。

● Personnel System

このシステムはUNDPのHeadquarterを対象として73年11月よりシステム分析を開始、システム設計を終えた後、6ヶ月でプログラミングしたものである。

インプット・シートは別添資料6(1~6)にみる通りであるが、項目が細目にわたり設計されており、特に言語は26種、職種は330種にもわたり、カンントリー・コード以外にも主要都市コードを持っている。

今後は、学歴および国連以外の経験も加える予定である。

上記諸コードは、外務省、国際協力事業団にとってもかなり資するところがあり、これらのコードを含めたFinancial System, Personnel Systemに関するマニュアルの入手方希望したところMr. BARNARD HAUSNERは快よく応じてくれ、後日、外務省政策課宛送付してくれることを約束した。(ページ数が多いためコピーをとったあと)

資料 4 (1)

UNITED NATIONS DEVELOPMENT PROGRAMME - COMPONENT PROJECT BUDGET

Page of

UNEP BUDGET

PERIOD 19
1 1972

UNEP BUDGET

CCCC BUDGET ATTACHED

TYPE OF BUDGET		PROJECT NUMBER		CLASSIFICATION		PROJECT TYPE		REVISION TYPE		FUND		TYPE OF CONTRIBUTION		PROJECT	
1-UNEP PROJECT	2-UNEP PROJECT	ST	SR	AD	AS	1-UNEP PROJECT	2-FULL PROJECT	1-UNEP PROJECT	2-SPECIAL SUBSIDY	1-UNEP PROJECT	2-UNEP PROJECT	1-UNEP PROJECT	2-UNEP PROJECT	1-UNEP PROJECT	2-UNEP PROJECT
1	2	18	22	21	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

STARTING DATE		DURATION		DATE OF APPROVAL		UNEP CONTRIBUTION		COST CONTRIBUTION		PROJECT SHORT TITLE		DATE OF REFERENCE	
1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

PERIOD 19		PERIOD 20		PERIOD 21		PERIOD 22		PERIOD 23		PERIOD 24		PERIOD 25	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

STARTING DATE		DURATION		DATE OF APPROVAL		UNEP CONTRIBUTION		COST CONTRIBUTION		PROJECT SHORT TITLE		DATE OF REFERENCE	
1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972	1-1972	2-1972
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

資料 4 (2)

400

AGENCY PROJECT DELIVERY REPORT

COVER SHEET

Agency _____

Agency No. _____

- Reporting date as at
- 31 March 19__
 - 30 June 19__
 - 30 September 19__
 - 31 December 19__ (initial)
 - 31 December 19__ (final)

Date transmitted to USDP / /
Day Month Year

資料 4 (3)

AGENCY PROJECT DELIVERY REPORT

410

PROJECT SHEET

Project Number _____
 Country Year Number Revision
 Project Title _____

UNDP Budget				
	Component	Delivery (Year-to-Date)		Unliquidated Commitments
		Man-Months	Expenditures	
119	Project Personnel			
129	Subcontracts			
139	Training			
149	Equipment			
159	Miscellaneous			
199	Total			

Government Cash Counterpart Budget				
	Component	Delivery (Year-to-Date)		Unliquidated Commitments (Local Currency)
		Man-Months	Expenditures (Local Currency)	
219	Project Personnel			
229	Subcontracts			
239	Training			
249	Equipment			
259	Miscellaneous			
299	Total			

資料 4 (4)

AGENCY PROJECT DELIVERY REPORT

COUNTRY TOTAL SHEET

COUNTRY _____

COUNTRY CODE _____

420 UNDP Budgets

Number of projects _____

Total man-months _____

Total expenditures _____

Total unliquidated commitments _____

421 Government Cash Counterpart (GCC) Budgets

Number of projects with GCC budgets _____

Total man-months _____

Total expenditures _____

Total unliquidated commitments _____

資料 4 (5)

AGENCY PROJECT DELIVERY REPORT

AGENCY GRAND TOTAL SHEET

430 UNDP Budgets

Number of projects	_____
Total man-months	_____
Total expenditures	_____
Total unliquidated commitments	_____

431 Government Cash Counterpart (GCC) Budgets

Number of projects with GCC budgets	_____
Total man-months	_____
Total expenditures	_____
Total unliquidated commitments	_____

ACTUAL AND PLANNED EXPENDITURE, BY SOURCE OF FUNDS - AFRICA
AS OF 31 DECEMBER 1974

PROJECTS FINANCED UNDER THE INDICATIVE PLANNING FIGURE

ETHIOPIA

	ACTUAL 1972	ACTUAL 1973	PLANNED 1974	PLANNED 1975	PLANNED 1976	TOTAL 1972-1976	PLANNED 1977	PLANNED 1978	PLANNED 1979	PLANNED 1980-1981	TOTAL 1977-1981
ETH-73-010-C-01-12 AGRICULTURAL ECONOMICS		15,000	30,000	30,000	15,000	90,000					
ETH-73-013-A-01-14 URBAN WATER SUPPLY				38,000		38,000					
ETH-74-002-A-01-12 AGRICULTURAL RESEARCH				700,750	980,000	1,680,750	1,167,000	811,250	141,000		2,119,250
ETH-74-012-A-01-14 HEALTH LABORATORY SERVICE				256,150	147,200	403,350	78,150	16,000			54,150

TOTAL OF APPROVED PROJECTS

	4,324,146	4,759,506	6,113,847	3,936,743	2,157,978	21,292,280	1,245,150	927,250	141,000		2,213,400
--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	---------	---------	--	-----------

IPF FOR THE PERIOD 1972-1976

\$20,000,000 IPF FOR THE PERIOD 1977-1981

50

-----UNITED NATIONS DEVELOPMENT PROGRAM. - COMPONENT PROJECT BUDGET-----

RECORD IC (1-5)	PROJECT NUMBER (A-----18)	FUN RATE -02 JANUARY 1975	REGION -LATIN AMERICA	COUNTRY -BRAZIL	PROJECT NO. -864-67-535-0-01-12	ACTIVITY -FAO	REV. DATE -31/12/74	APPROVED	START DATE -01/01/70	ADJ.-	TYPE-FULL-ACTIVITY CUR-07/00	UNDP CCAT. -81,467,772	GOVT. CCAT. -8,775,771	SOURCE OF FUNCS -INDICATIVE PLANNING FIGURE
(27)	(43-46) (71)	(81)												
(62)	(52)	(123)												
RECORD IC (1-5)	1151													
-----COMPONENTS -PROJECT PERSONNEL,18 -SUBCONTRACTS,20 -FELLOWSHIPS,28 -EQUIPMENT,48 -MISCELLANEOUS,58														
COMPONENT LINE	BUDGET 1970	BUDGET 1971	BUDGET 1972	BUDGET 1973	BUDGET 1974	BUDGET 1975	BUDGET 1976	BUDGET 1977	BUDGET 1978	BUDGET 1979				
(17-22)	(24) (43) (46) (55)	(57) (67)	(68) (78)	(89) (95)	(100) (111)	(112) (122)	(123) (133)							
132E	111,305	134,770	176,743	153,357	123,520	186,000	168,500							
138			1,931	443	3,026	5,000								
148		620	6,983	21,722	21,803	40,900	20,100							
158	11,195	26,455	10,794	16,342	33,000	76,838	11,000							
157	6,466	6,617	3,004	5,562	12,767	4,100	8,900							
159	129,168	226,471	156,695	197,420	154,416	314,631	208,500							

資料 6 (1)

PERSONNEL TRANSACTION FORM I, COVERING: BASIC INFORMATION

1

ACTION CODE (MUST BE SUPPLIED):

- 1 = NEW STAFF MEMBER
- 2 = ADD INFORMATION NOT PREVIOUSLY PROVIDED
- 3 = REPLACE INFORMATION PREVIOUSLY PROVIDED
- 4 = DELETE ALL INFORMATION FOR STAFF MEMBER
- 5 = TERMINATE STAFF MEMBER

0 1

RECORD CODE

2 3

INDEX NUMBER (MUST BE SUPPLIED)

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

NAME (LAST NAME, COMMA, SPACE, FIRST NAME, SPACE, MIDDLE INITIAL)

1

SEX: 'M' = MALE, 'F' = FEMALE

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DATE OF BIRTH (DATE OF TERMINATION IF ACTION CODE IS 5)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

NATIONALITY (SEE NATIONALITY TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

VISA CODE: 'U' = U.S. CITIZEN, 'G' = G/L, 'I' = IMMIGRANT - NO WAIVER,

'W' = IMMIGRANT WITH WAIVER, 'Z' = OTHER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

MARITAL STATUS: 'S' = SINGLE, 'M' = MARRIED, 'W' = WIDOWED,

'D' = DIVORCED, 'P' = SEPARATED

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DUTY STATION (SEE DUTY STATION TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DATE OF ASSIGNMENT TO DUTY STATION

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

POST NUMBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

FUNCTIONAL TITLE (SEE FUNCTIONAL TITLE TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

BUREAU/DIVISION CODE (SEE BUREAU/DIVISION TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

SECTION CODE (SEE SECTION TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

LEVEL (SEE LEVEL/STEP TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

STEP (SEE LEVEL/STEP TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DATE PROMOTED TO LEVEL

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DATE OF LAST INCREMENT

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

INCREMENTAL FREQUENCY: 1 = NORMAL 4 = WITHHELD NO. 2

2 = ACCELERATED 5 = WITHHELD NO. 3

3 = WITHHELD NO. 1

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

TYPE OF CONTRACT (SEE CONTRACT TABLE)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

EXPIRATION DATE OF CONTRACT

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

NUMBER OF CONTRACT (01 = FIRST, 02 = SECOND, ETC.)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

FOD: UN FAMILY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

USD: UNDP

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DIRECTOR OF UN INFORMATION CENTRE: 0 = NO, 1 = YES

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

AWAITING REASSIGNMENT: 0 = NO, 1 = YES

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

ENGLISH PROFICIENCY) FOR EACH LANGUAGE: 0 = NONE.

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

FRENCH PROFICIENCY) 1 = ELEMENTARY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

SPANISH PROFICIENCY) 2 = LIMITED

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

RUSSIAN PROFICIENCY) 3 = MINIMAL WORKING

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

CHINESE PROFICIENCY) 4 = FULL WORKING (UNTESTED)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

ARABIC PROFICIENCY) 5 = FULL WORKING (TESTED)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

MOTHER TONGUE (SEE LANGUAGE TABLE) 6 = MOTHER TONGUE

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

DATE OF LAST PERIODIC REVIEW

資料 6 (2)

PERSONNEL TRANSACTION FORM II, COVERING: DEPENDENT INFORMATION

1

ACTION CODE (MUST BE SUPPLIED):

- 1 = NEW DEPENDENT
- 2 = ADD INFORMATION NOT PREVIOUSLY PROVIDED
- 3 = REPLACE INFORMATION PREVIOUSLY PROVIDED
- 4 = DELETE ALL INFORMATION FOR DEPENDENT
- 5 = TERMINATE

1 0 3

RECORD CODE

4 9

INDEX NUMBER (MUST BE SUPPLIED)

10 21

NAME OF DEPENDENT (FIRST NAME, SPACE, MIDDLE INITIAL)

23 30

DATE OF BIRTH (MUST BE SUPPLIED)

31

TYPE OF DEPENDENT ('P' = PRIMARY, 'S' = SECONDARY)

32

RELATIONSHIP: 'S' = SPOUSE 'P' = PARENT
 'N' = SON 'B' = BROTHER
 'D' = DAUGHTER 'T' = SISTER

33

DEPENDENCY ALLOWANCE GRANTED?) 0 = NO

34

DISABLED DEPENDENT?) 1 = YES

35

IS DEPENDENT A FULL-TIME STUDENT?)

36 41

INDEX NUMBER OF SPOUSE (TO BE COMPLETED ONLY IF RELATIONSHIP = SPOUSE AND SPOUSE IS A MEMBER OF IN FAMILY)

42 43

AGENCY OF SPOUSE (TO BE COMPLETED ONLY IF INDEX NUMBER OF SPOUSE IS COMPLETED. SEE AGENCY TABLE)

44 49

DATE OF TERMINATION

資料 6 (3)

PERSONNEL TRANSACTION FORM IV A, COVERING: SECONDMENTS
LOANS

ACTION CODE (MUST BE SUPPLIED):

- 1 = NEW INFORMATION
- 2 = ADD INFORMATION NOT PREVIOUSLY PROVIDED
- 3 = REPLACE INFORMATION PREVIOUSLY PROVIDED
- 4 = DELETE ALL INFORMATION
- 5 = TERMINATE

RECORD CODE

INDEX NUMBER (MUST BE SUPPLIED)

TYPE OF ACTION:

- 1 = SECONDED FROM AGENCY TO UNDP
- 2 = SECONDED TO AGENCY FROM UNDP
- 3 = LOANED FROM AGENCY TO UNDP
- 4 = LOANED TO AGENCY FROM UNDP
- 5 = OUTPOSTED

AGENCY INVOLVED (SEE AGENCY TABLE)

EFFECTIVE DATE

SCHEDULED EXPIRATION DATE

NUMBER OF CONSECUTIVE SECONDMENTS THIS AGENCY

TYPE OF CONTRACT WITH HOME AGENCY (COMPLETE IF TYPE OF ACTION (POSITION 10) = 1 OR 3: SEE CONTRACT TABLE)

DATE TERMINATED LOAN/SECONDMENT

資料 6 (4)

PERSONNEL TRANSACTION FORM IIIA, COVERING: ASSIGNMENT ALLOWANCE

1

ACTION CODE (MUST BE COMPLETED):

- 1 = NEW INFORMATION
- 2 = ADD INFORMATION NOT PREVIOUSLY PROVIDED
- 3 = REPLACE INFORMATION PREVIOUSLY PROVIDED
- 4 = DELETE ALL INFORMATION
- 5 = TERMINATE

2 0

RECORD CODE

4 9

INDEX NUMBER (MUST BE SUPPLIED)

10 15

INITIAL DATE OF ASSIGNMENT ALLOWANCE

14 19

DATE TERMINATED ASSIGNMENT ALLOWANCE

資料 6 (6)

PERSONNEL TRANSACTION FORM V, COVERING: SPECIAL LEAVE

(特休)

ACTION CODE (MUST BE SUPPLIED):

- 1 = NEW INFORMATION
- 2 = ADD INFORMATION NOT PREVIOUSLY PROVIDED
- 3 = REPLACE INFORMATION PREVIOUSLY PROVIDED
- 4 = DELETE ALL INFORMATION
- 5 = TERMINATE

RECORD CODE

INDEX NUMBER (MUST BE SUPPLIED)

TYPE OF SPECIAL LEAVE (SEE SPECIAL LEAVE TABLE)

START DATE OF LEAVE

SCHEDULED RETURN DATE

LOCATION OF LEAVE (SEE SPECIAL LEAVE LOCATION TABLE)

DATE TERMINATED SPECIAL LEAVE

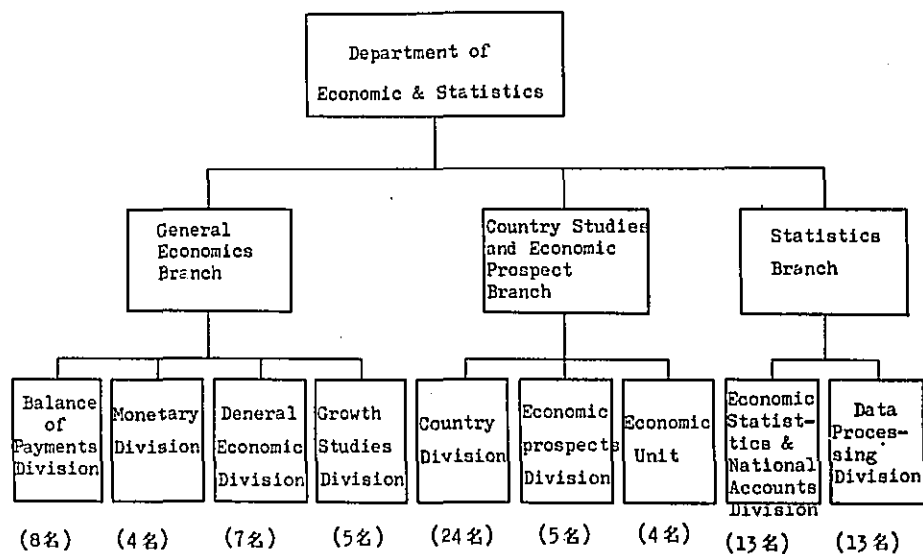
5 OECDにおけるコンピュータ利用状況

(1) 組織と人員構成

経済統計局としてOECDの中に位置し、約180人で構成されている。

その半数は、直接コンピュータに係りあいのある専門経済学者、計量経済学者、統計官およびプログラマーである。

組織は、下記の通りである。



(2) ハードウェア

現在使用している機種は、Burroughs 3500

(3) 主要対象業務

- ① Foreign Trade
- ② Main Economic Indicators for Each Country

- ③ National Accounts
- ④ Manpower and Labour Force Statistics
- ⑤ Manetary and Balance of Statistics

の5つの主要な経済統計が、中心となっている。

なお詳細については、46年9月経済協力局印刷の鈴木リポートを参照されたい。

(4) 磁気テープ入手および継続入手方法

- World Terms Matrix, Geographical Distributionおよび Technical program等の各種経済協力データの磁気について

World Terms Matrixの'71~73年のデータはコンピュータ・ファイルにインプットされており、コピー・テープを4~5日で作成できるということで、入手済。

同様にGeographical Distributionのデータは、'69~73年までのコピー・テープも入手済。

また、Technical Programのデータについては、'71年のみ有用で、'72年以降はデータ・チェックが不完全であることから、磁気テープによる提供は、数カ月後の見込みである。

その他にDAC諸国のプロジェクト分野別の金額、期間等に関するデータも作成しており、これも入手可能である。

上記の磁気テープ入手に係わるコストは、今回は始めてということで無償でよいとの発言があったが、場合によっては磁気テープ2本分程の費用を払う事もありうる。

また、今後も継続入手するには、対応の費用で入手する方法と、磁気テープを媒体としてデータ交換を行なう方法が考えられる。

パンチ料金データ・テープ作成費が相殺されるし、データ・チェックおよびファイルへのインプット諸作業の負担軽減につながり、更には、外務省にとっては、長期的にみて、DACとDAC諸国内のトータル・システム化による相互のメリットを考えると、後者が望ましいと思われる。

なお、磁気テープによるデータ交換は、すでにイタリア、米圏間で部分的に行われているとのことである。

